

大分縣地理

全

特31

376

026148-000-8

特31-376

大分県地理

牧 源太郎/等著

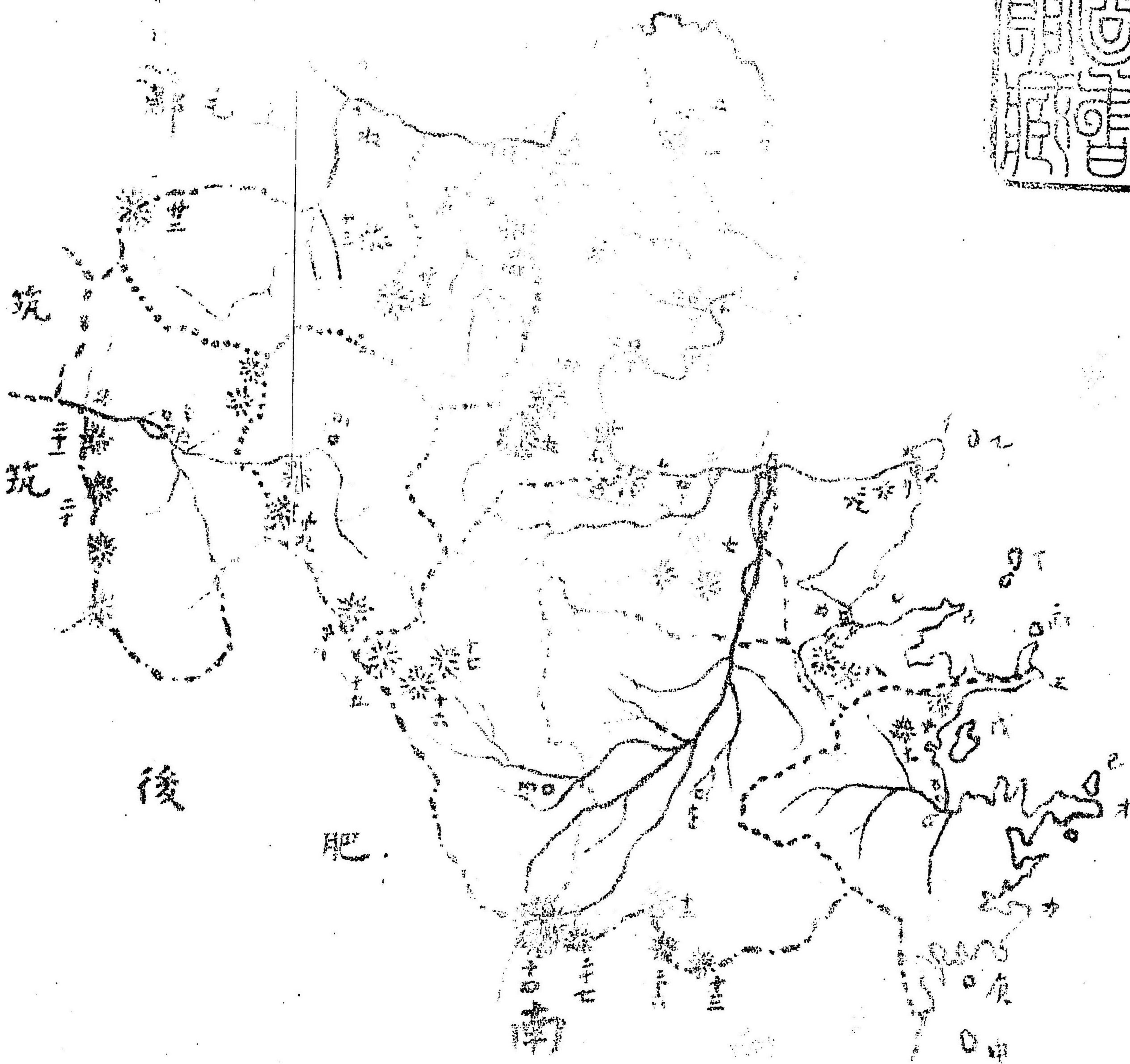
M26

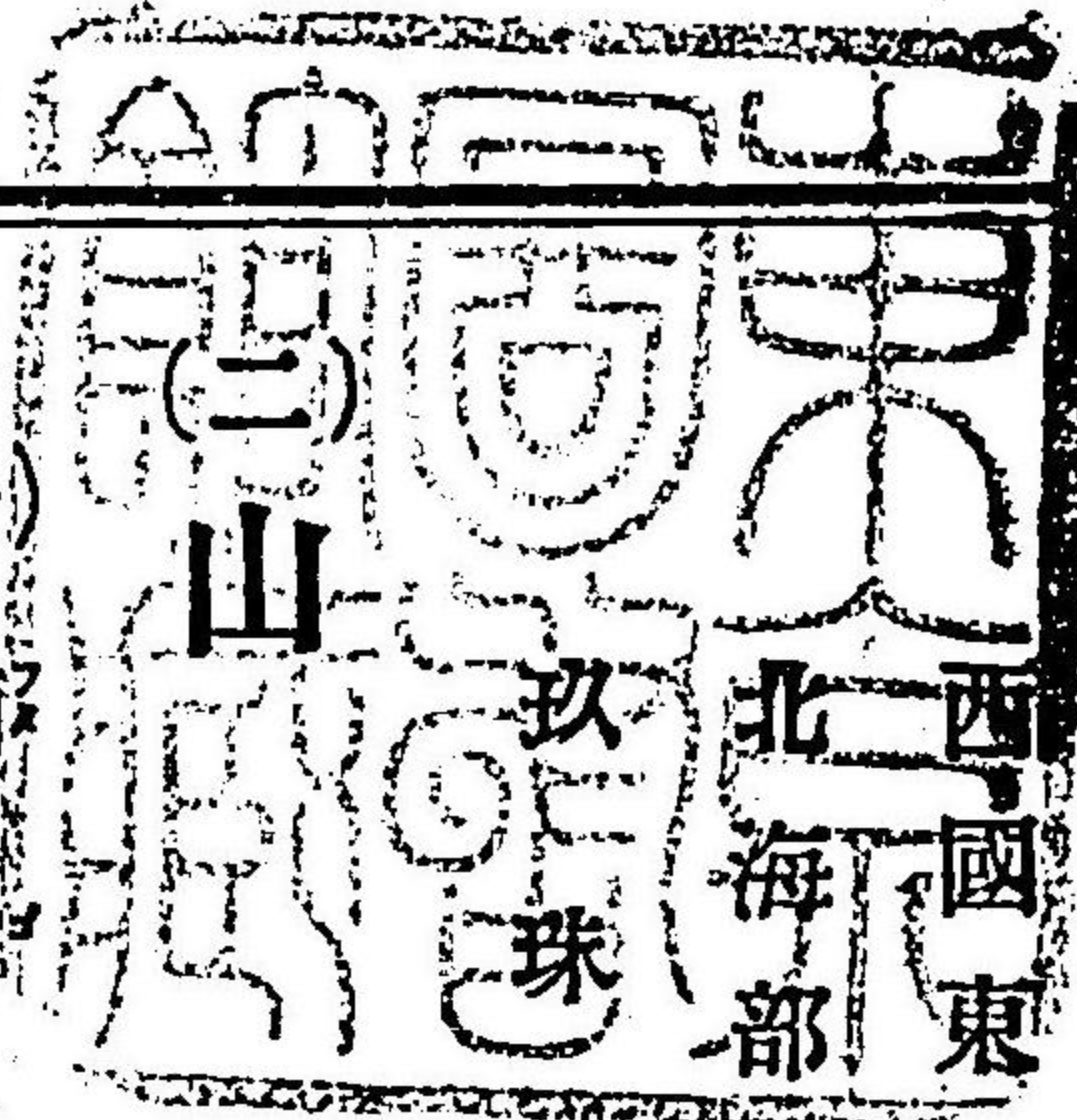
ADC-3819





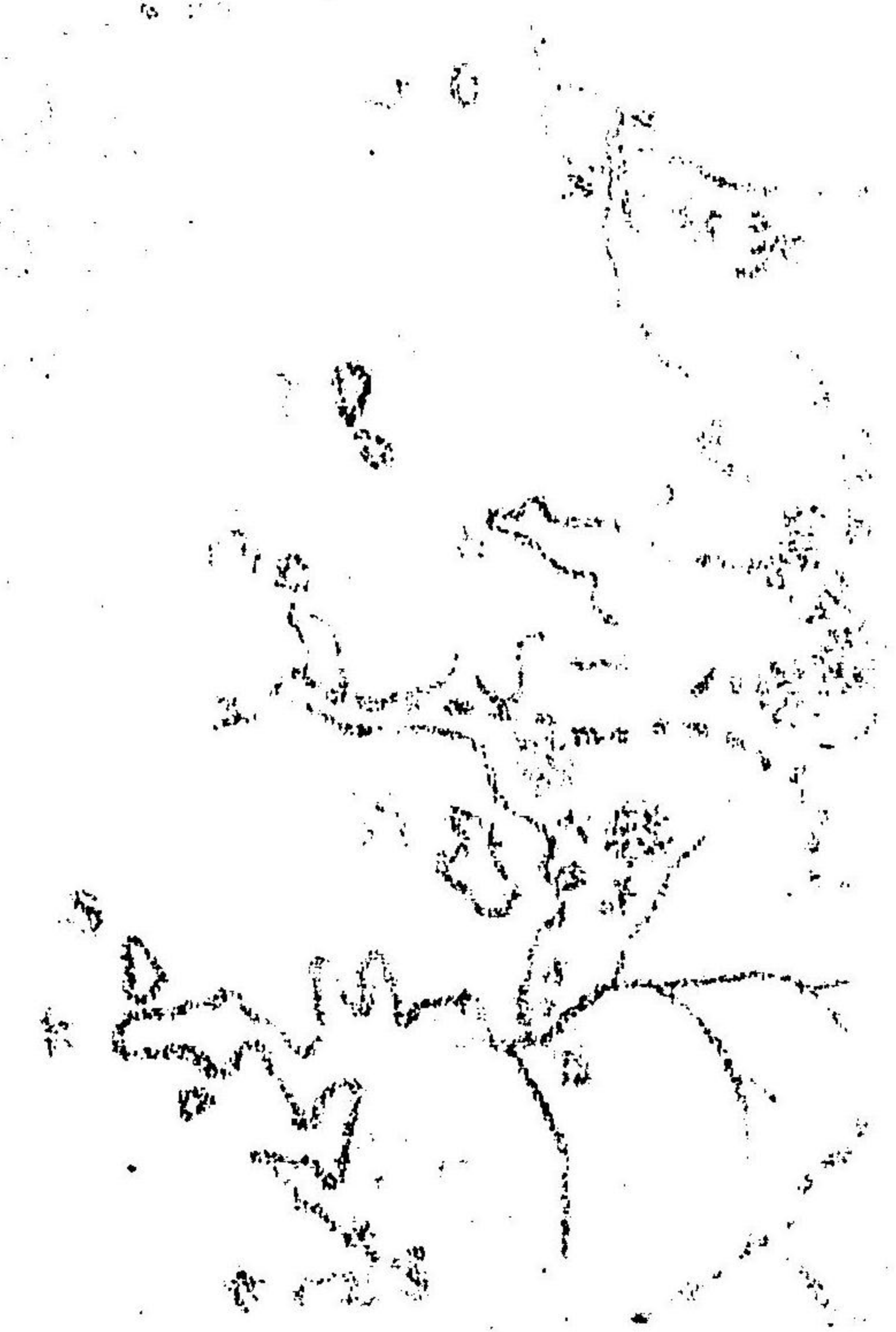
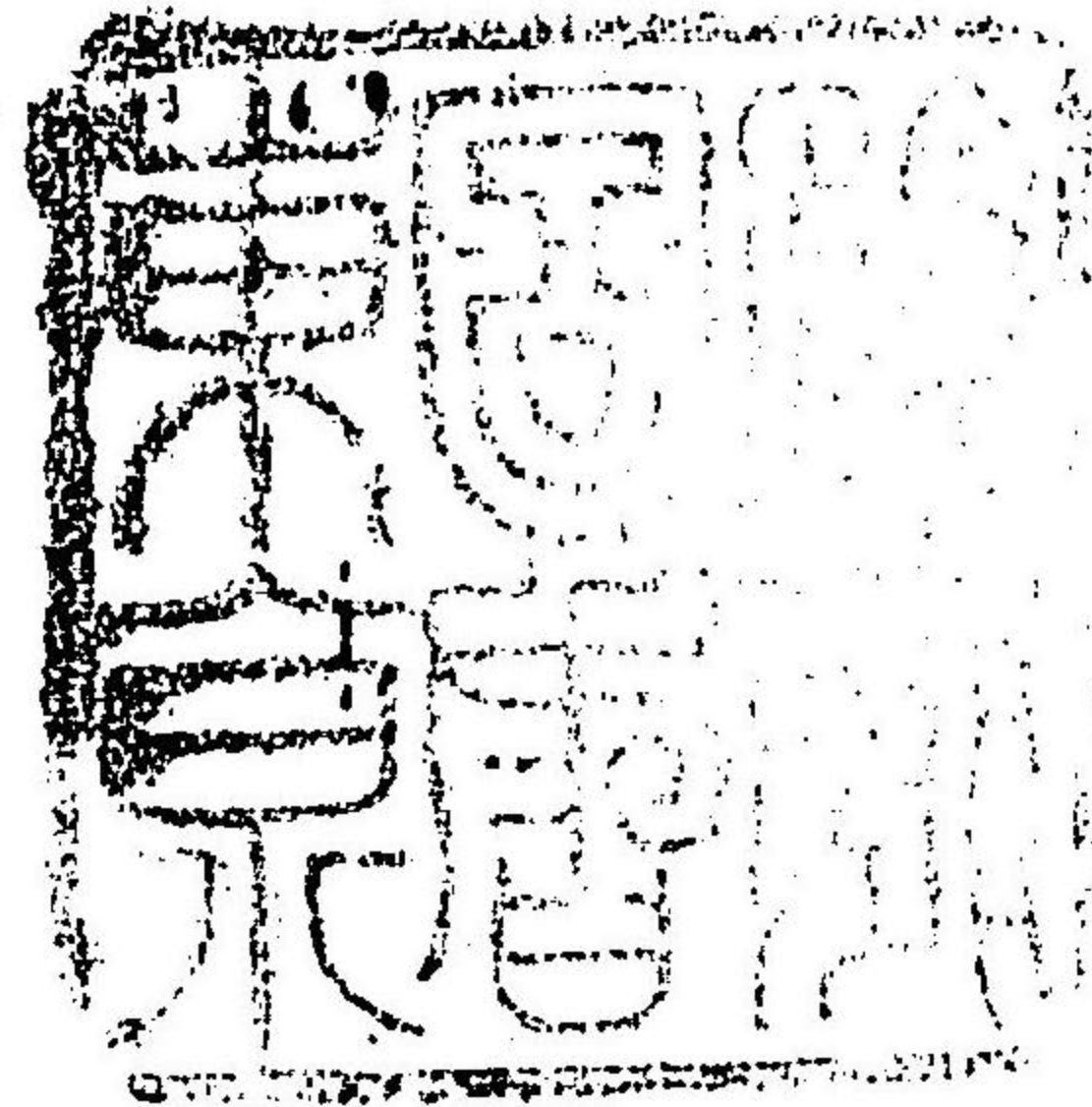
前
西
後





(一) 郡
大分縣地理
圖解

(九)	(五)	(一)	珠	北海部	西國東
岳	由布岳	兩子山	郡	郡	郡
(十)	(六)	(二)	日田	南海部	東國東
岳	四極山	文珠山	郡	郡	郡
(十二)	(七)	(三)	下毛	大野	速見
尺間岳	九嶷山	西叡山	郡	郡	郡
(十三)	(八)	(四)	宇佐	直入	大分
傾山	碁盤岳	鶴見岳	郡	郡	郡



(三) 川

(9)(5)(1) 八 大 大
 坂 分 野
 川 川 川
 (10)(6)(2) 桂 番 三
 川 匠 隈
 川 川 川
 (7)(3) 安 山
 岐 國
 川 川
 (8)(4) 白 驛
 杵 館
 川 川

(三) 附 記
 (三) 硫 黃 山
 (其) 木 浦 鑛 山
 (七) 尾 平 鑛 山
 (其) 立 石 金 山
 (其) 神 崎 銅 山
 (五) 鹿 嶺 山
 (其) 高 井 ヶ 岳
 (七) 黑 岳
 (三) 桑 原 山
 (六) 祖 母 山
 (三) 英 彦 山
 (九) 八 面 山
 (三) 御 許 山
 (七) 高 井 ヶ 岳
 (六) 涌 出 山
 (九) 萬 年 山
 (三) 權 現 山
 (三) 大 船 山

(四) 岬

(オ)(ア) 鶴 御
 岬 野 崎
 (カ)(イ) 芹 地
 崎 藏 崎
 (ウ) 楠 屋
 崎
 (エ) 蒲 戶
 崎

(五) 港

(ク) 守 江 港
 中 津 港
 長 洲 港
 高 田 港
 (キ) 竹 田 津 港
 大 分 港
 杵 築 港
 日 出 港
 別 府 港
 佐 賀 關 港
 (ケ) 下 ノ 江 港
 白 杵 港

(六) 島

佐 伯 港

(戊)(甲) 大^大 入^入 島 島
 (己)(乙) 大 高 島 島
 (庚)(丙) 屋^屋 保^保 形^形 戸^戸 島 島
 (申)(丁) 深 無^無 垢^垢 島 島

(七) 海

鹵 菴 海 周 防 灘 豐 後 灘

(八) 都會

(取)(わ)(り)(ほ)(い) 四 竹 佐 日 高
 日 賀 賀 賀 賀
 市 田 關 出 田
 (そ)(か)(ぬ)(へ)(ろ) 長 森 白 別 玉
 洲 杵 府 津
 (つ)(よ)(る)(と)(は) 宇 豆 佐 大 鶴
 佐 田 伯 分 川
 (ぬ)(た)(と)(ち)(に) 中 隈 市 鶴 杵
 津 場 崎 築

附記 温泉場

(あ)(や)(み)(な) 天 寶^寶 明^明 濱
 ケ 泉^泉 寺^寺 琴^琴 脇
 (あ)(ま)(の)(ら) 鷺^鷺 筋^筋 塚^塚 觀
 來^來 ケ 追 湯 原^原 海 寺
 (て)(け)(た)(む) 寒^寒 大 柴^柴 鉄^鉄
 ノ 地 嶽 湯 石^石 輪^輪
 (ふ)(く)(う) 由 湯 堀
 布 ノ 堀
 院 平 田

大分縣地理

(一) 區劃及境界

本縣ハ豊後全國ト豊前國二郡トヨリ成リ北ハ周防灘東ハ豊後灘ニ面シ南ハ日向、西ハ肥後、筑後、筑前ノ三國及ヒ豊前ノ上毛郡ニ接ス

(二) 廣計及戶口

東西三十里、南北二十二里、面積四百九方里餘ニシテ戶數十五万三千五百餘、人口七十九万七千八百餘アリ

(三) 地勢

一般ニ山岳多ク河流縱横シ間々高原平野アリ之ヲ大別

スルニ其西南部(大野、直入、玖珠、日田)ハ殊ニ山岳重疊シ運
輸不便ナリ東北部(東西國東、速見、大分、南北海部)ハ山ヲ負
ヒ海ニ臨ミ海岸出入甚ク國東ノ山嘴及ヒ地藏崎ハ相對
シテ遠ク東海ニ斗出シテ齒齧海ヲ抱ク山岳ハ祖母山南
ニ聳ヘ其ノ脈延キテ日向トノ境ヲナシ久住、大船、黒岳由
布、鶴見等ノ諸山起伏シテ西ヨリ東ニ並立シ文珠、兩子ニ
連ル河川ハ大概東或ハ北ニ流レ唯三隈ノ一川西流シテ
筑後ニ入ル
著名ノ山岳
兩子山ハ東西國東ノ境ニ跨リ文珠山其ノ北ニ連リ共ニ
寺院アリ
由布山ハ速見郡ノ西南ニ峙チ豊後富士ノ稱アリ豊後第

二ノ高山ニシテ直立四千八百尺アリ其ノ東ニ聳ユル鶴
見岳ハ火山ニシテ山麓所々ニ温泉湧出ス其ノ脈延テ鹿
鳴越トナル
九嶷山ハ大分郡ノ中央ニ聳ヘ山上ニ靈山寺アリ
姫岳ハ北海部郡ノ南方ニ秀テ碁盤岳ハ其ノ南ニ連レリ
尺間山ハ南海部郡ノ北方ニ在リ山上ニ尺間社アリ
傾山ハ大野郡ノ西南端ニ秀テ山嶺傾斜スルヲ以テ此ノ
名アリ其ノ南ニ木浦嶺山アリ尾平嶺山其ノ西ニ連リ共
ニ銅錫鉛及アンチモニ等ヲ産出ス
祖母山ハ直入郡ノ南境ニ秀テ肥後、日向ニ跨リ豊後第一
ノ高山ニシテ直立五千四十尺、久住山ハ其ノ北ニ在リテ
玖珠郡ニ跨リ頂上ニ池水アリ山腹常ニ煙ヲ吐キ硫黄ヲ

産ス

湧田山ハ玖珠郡ノ南界ニアリ万年山ハ其ノ西北ニ連リ其ノ東北ノ斷株山ハ土俗之ヲ巨樟ノ化成セルモノナリト稱ス

權現岳ハ日田郡ノ西境ニ秀テ山頂ヨリ二豊兩筑兩肥ノ六州ヲ下瞰スヘシ

英彦山ハ下毛郡ノ西端ニ峙テ山勢峻峻ニ權現社アリ御許山ハ宇佐郡ノ東端ニ峙テ山嶺ニ八幡社アリ

著名ノ河流

大野川ハ縣内第一ノ大河ニシテ源ヲ日向ニ發シ直入大野ノ諸川ヲ合セ大分郡ニ入り鶴崎ヲ過キテ海ニ注ク長サ殆ント二十里漁利多ク舟楫ノ便ヲ有ス其ノ上流沈墮

ノ瀧ハ壯觀ヲ以テ著ハル

大分川ハ源ヲ由布岳ニ發シ速見ヲ經テ大分郡ニ入り東流諸川ヲ合セ北向大分ノ東ニ至リ海ニ注ク漁業ノ利アリ

三隈川ハ源ヲ肥後ニ發シ玖珠川ヲ合セ西流シテ筑後筑前ノ間ヲ過キ筑後川トナル此川鮎ヲ産スルコト多ク其ノ肥大ナルヲ以テ名アリ

山國川ハ源ヲ英彦山ニ發シ耶馬溪ノ勝地ヲ過キ北流中津ノ西ニ至リ海ニ入ル

驛館川ハ速見郡塚原ニ發シ諸水ヲ合セ北流シ長洲ニ至リ海ニ入ル灌溉ノ便アリ

番匠川ハ源ヲ南海部郡ノ西境ニ發シ東流シテ佐伯ノ南

ヲ經テ海ニ入ル

(四) 地味及氣候

土地ノ平沃ナルハ大分、宇佐、下毛、日田ヨシテ東西國東、速見、大分之ニ次キ大野、直入、玖珠ハ内地山多ク高低一ナラス南北海部沿海ノ地ハ平坦ナレハ肥沃ノ地少シ然レハ果實水産ノ利殊ニ多シ
氣候東方沿海ノ地ハ温暖ナレハ西南ニ到ルニ從ヒ土地高ク山岳相連ナルヲ以テ稍寒冷ナリ就中、直入、玖珠、日田等ハ寒氣甚シク霜雪殊ニ多シ

(六) 都邑

玉津、高田ハ大分縣廳ヲ距ル十三里半、西國東郡ノ西偏ニアリ桂川ヲ挾テ相對ス世人兩地ヲ總稱シテ高田ト云フ

人口六千二百餘、西國東郡役所、區裁判所、警察署及小學校等アリ

鶴川ハ東國東郡ノ東方國崎村ニアリテ大分縣廳ヲ距ル十五里半、人口三千餘、東國東郡役所、警察署及小學校等アリ

杵築ハ速見郡ノ東北端ニアリテ大分縣廳ヲ距ル十里區裁判所、警察署、監獄支署、小學校及銀行、諸會社等アリ

東國東ノ産物ハ多ク此地ニ集リ商業稍盛ニシテ人口六千五百餘ヲ有セリ

日出ハ速見郡ノ東部茵苔灣ニ瀕シ良港ヲ有スト雖モ地狹キヲ以テ物貨ノ運輸便ナラス速見郡役所此ニ在リ大分縣廳ヲ距ル七里餘、人口四千二百餘、警察分署、郵便局、小

學校及諸會社アリ
別府ハ大分縣廳ヲ距ル三里齒苳灣ノ西岸ニアリテ良港
ヲ有シ汽船常ニ出入シ運輸便利ナリ南濱脇ト相連リ共
ニ著名ノ温泉場ニシテ四時浴客多ク商業從テ盛ナリ
大分ハ大分郡ノ北端齒苳灣ノ濱ニアリ人口一萬五千餘
市街整正ニシテ貨物ノ出入多ク商業最モ盛ナリ大分縣
廳ハ舊城内ニアリ市中ニハ諸官衙、諸學校、銀行、會社等美
麗ノ建築アリ西方殆ント一里ノ所ニ大分港アリ汽船ノ
出入繁ク貨物ノ運搬忙シ
鶴崎ハ大野川ノ河口ニアリ大分ヲ距ル二里、人口三千余
蠶養ノ業盛ニシテ警察分署、小學校、會社アリ
佐賀關ハ大分縣廳ヲ距ル七里半北海部郡ノ東北ニ位シ

上浦下浦ノ二港アリ港内水深ク共ニ大船ヲ泊スヘク縣
内第一ノ良港ナリ
白杵ハ大分縣廳ヲ距ル八里北海部郡ノ東偏ニアリ東白
杵港ニ臨ミ人家稠密、人口一萬餘商業盛ニ行ハル北海部
郡役所、區裁判所、警察署、郵便電信局、小學校、會社等アリ
佐伯ハ大分縣廳ヲ距ル十六里餘、南海部郡ノ東偏番匠川
ノ河口ニアリ人口六千餘、南海部郡役所、區裁判所、監獄支
署、郵便電信局、銀行、小學校等アリ
市場ハ大分縣廳ヲ距ル十里餘大野郡ノ中央三重村ニ在
リ日向往還ニ沿ヒ人口三千餘、大野郡役所、警察署、小學校
等アリ
竹田ハ大分縣廳ヲ距ル十一里餘直入郡ノ東隅熊本往還

ニ沿ヒ新道開ケシヨリ運輸ノ便ヲ増シ商業漸ク盛ニ赴キ市街清潔人口五千五百餘、直入郡役所、區裁判所、監獄支署、郵便電信局、小學校、諸會社アリ
森ハ大分縣廳ヲ距ル十四里玖珠郡ノ中央部ニアリ玖珠郡役所、警察署、郵便局、小學校等アリ
豆田ハ大分縣廳ヲ距ル二十一里日田郡ノ北部ニアリ筑前、筑後ニ通スル道路ニ沿ヒタル市街ニシテ人口四千餘日田郡役所、區裁判所、警察署郵便電信局、小學校等アリ隈ハ豆田ノ南ニアリテ市街殆ント相連リテ三隈川ニ臨ミ舟運ノ便アルヲ以テ部内ノ產物多ク輻輳ス
中津ハ大分縣廳ヲ距ル十九里餘下毛郡ノ北端山國川ノ河口ニアリ北ハ中津港ニ臨ミ人口一万二千餘商業頗ル

盛ナリ下毛郡役所、區裁判所、警察署郵便電信局、小學校等アリ
四日市ハ大分縣廳ヲ距ル十四里餘宇佐郡ノ北部ニアリ、街道ニ沿ヒテ市街ヲナス人口三千餘、宇佐郡役所、警察署小學校及東西別院アリ此地ノ東方宇佐ニハ官幣大社ナル宇佐八幡アリ又驛館川ノ河口ニ沿ヘル長洲ハ稍繁盛ナリ

(七) 生業

人民ノ生業ハ農ヲ主トシ養蠶之ニ次ク沿海ノ地ハ漁業或ハ製鹽ニ從事シ市街ノ地ハ商工ノ業行ハル

(八) 人情風俗

明治初年ノ以前ニハ數藩ニ分レシヲ以テ風俗從テ同シ

カラス然レモ豊後ノ俗ハ質朴ニシテ柔情宇佐、下毛ハ活潑ノ風アレモ頑固ナリ皆能ク神ヲ敬シ佛ヲ信ス

(九) 物産

物産ノ主要ナルモノハ米、生糸、青筵、華筵、椎茸、材木、鰯、干鮑、生蠟、織物、鑛物、鑛物等ナリ

(十) 道路

街道ニ六ツアリ

豊前街道

大分ヨリ別府、日出、立石、宇佐、中津ヲ經テ福岡縣ニ通ス

日向街道

大分ヨリ戸次、市場、重岡ヲ經テ宮崎縣ニ通ス

肥後街道

大分ヨリ野津原、竹田、菅生ヲ經テ熊本縣ニ通ス
伊豫街道

大分ヨリ鶴崎、市ヲ經テ佐賀關ニ至リ海路愛媛縣ニ通ス

筑前街道及筑後街道

大分ヨリ向原、川西、中村、戸畑、豆田ヲ經テ筑前國境ニ達スルヲ筑前街道トシ豆田ヨリ分レテ筑後ノ國界ニ至ルヲ筑後街道トス

附録

管内道とるべ

大分縣下の管轄は

豊前の國の宇佐下毛

豊後の國の日田郡と

東西國東玖珠直入

進見大分に大野郡

南北御部のもろくの

郡合せて十二郡

四百方里の面積の

中にさかゆる大分町

市街端しく平かに

商賈繁昌民富めり

宏壯極めし建物や

種々の會社も數多く

管内一の都會なり

西に繞りて峙てる

高崎山をすぎゆけは

速見のいで湯は名も高し

油布と鶴見を西に見て

東の海は幽藪灣

船の出入りもいとまげく

四時の眺めも面白ま

御越豊岡打過ぎて

左手の方の鹿鳴越の

麓に建つる日出町は

大分の町と差し向ひ

是より三里隔りて

八坂の川の川口に

町並あしき一市街

杵築城市の遺跡なり

高山川の石橋を

渡りて北の一面は

海中途に突出でし

國東山嶺の名はまろし

七島蘭の産額は
兩子文珠の船客の
防州灘の一孤島
國東山嘴の西のはて
昔思へは和氣公の
まはしぬかづき君代
川上廣く土地闊け
養蠶製糸も盛なり
電信線を辿りつゝ
福岡縣の支配なり
長さ六里の名山水
盡さぬ名残りを惜みつゝ
宇佐の境に願みて

歳入凡そ二十萬
目標建てし如くなり
竹田津港と相望む
豊前の國の境なり
忠義も共に輝きて
幾萬代を祈りつゝ
灌溉水利の便よく
河口はやかて長洲港
下毛の境もいつか過ぎ
山國川の岸あそひ
殊にいみしき羅漢寺
山又山を分け入れは
屋山大山拾原山

安岐と武藏は谷廣し
北にまどりて姫島は
高田玉津は小都會
宇佐の御社神さびて
神徳今にいやちまなり
宇佐山過げは驛館の
管内一に位して
右に見めぐる四日市
中津の町より其西は
南に向ける耶馬溪の
見つゝそは道ふみ傳ひ
鹿嵐山を東方の
西北隅の英彦山の

神の宮居をふしおがみ
豊前の旅も今日限り
東西南北取り圍む
札木雪岳月出羽田
幕府の比は天領の
まの邊あての小都會
鮎の漁り目覺しく
三つの隈山打過ぎて
村どいへど市街なり
その株今の失せはて
西行法師の古事も
肥後の境あがりて
大船山も其隣り

山國川の水源を
再び豊後の深山地を
高山峻岳絶へ間なく
中に開けし園田は
代官派出の處なり
隈を流る隈川の
皇國一と稱へたる
東あ向ひ玖珠郡の
それより万年の麓を
名のみなりたり其東
今あ残りて人ぞ去る
温泉處々あ涌き出でぬ
南のはての祖母山と

今ぞ始めてしられける
分けつゝ入りし日田郡は
高井權現釋迦三國
流れを扣へ土地廣く
豆田の町や隈町は
源遠く水多く
日隈月隈星の隈
左手あつづく森村の
新椽山の楠見れの
遙か見やる豊後富士
右手あ秀づる涌出山
直入の久住と山續き
共る雲間あまくらへ

久住の山は打登り
 管内一の高地にて
 氣候もいと寒く
 年々切り出す材木の
 山の麓に久住ひら
 王來竹田の賑ひしく
 水色清くなつかし
 見捨て、過ぐ大野郡
 首傾きの山つゞき
 緒方砂田と三重の市
 いとも目比度處あり
 見捨て、今日は海部郡
 水ぎ又近く眺むれと
 遠近廣く見渡せば
 千流萬派の源を
 彌生の春も冬めなり
 幾千萬の數えれそ
 三里はなれて菅生を
 田舎も稀なる小都會
 處も名代の申の柿
 目指す處の尾平山
 木浦山よの錫鉛
 高等尋常小學校
 犬飼川は捕る鮎も
 中津の町をいでしより
 海岸犬牙の如くなる
 珠日田直入の三郡は
 茲に築めて一つか沼
 四方に生出る松杉の
 行末うけて頼母しき
 玉蜀黍の名所なり
 此處を流る竹田川
 左に沈墮の雌雄の滝
 四ヶ所の銅孔見廻りて
 ませて掘り出す其東
 敷地の高く揚所廣く
 昔嘶の野津市も
 そる海への懸しくて
 宇土を始めて名處の

名古屋岸崎さしめきや
 大入島を第一ふ
 かとりし事もあるなれど
 番匠川を打渡り
 足をやそめて次ぐの日の
 威徳畏み杖も寄り
 東の廣き硫黄灘
 瘠せて五穀の類なし
 海邊につゞく津久見瀉
 臼杵に近き六ヶ追
 田園なきにほろむとも
 姫嶽鎮南鼎立し
 鶴の岬や蒲戸崎
 大島横島屋形島
 いそぐ旅路に心せき
 佐伯の町の魚佃
 榎牟禮山の麓過ぎ
 御社近くぬかつきて
 西の山岳重りて
 南海部を立出でよ
 輸出の蜜柑の音高し
 炭酸泉に名を得り
 肥沃の土地をいひがたし
 其脈餘りて楠屋崎
 岬の間の島々
 深島其外猶多し
 委しき事の又の日と
 眠氣醒して稍暫ま
 尺間ヶ岳の荒神の
 静に首を廻らせば
 海濱近き田畑も
 北に廻れを北海部
 臼杵の漁業も盛なり
 全郡一体海濱の
 内地に聳ゆる基盤岳
 九六位山の山脈も

東北隅に突出せよ	其尖やがて地蔵崎	速吸水門の海峡を
隔てよ四國をすじ向ひ	孤筆形の細首を	開く港の佐賀の關
縣内一の港にて	眞珠をるめの産多し	市村過ぎて一里半
運輸の便ある大野川	鶴崎高田の琵琶形に	乙津の川にせばりられ
川中島とも稱すべし	三佐も與島も三稜州	戸次村の利光の
豊臣島津の古戦場	松築山は西南の	役に戦死の軍人を
祭る一個の丘陵よ	續きて聳ゆる高山は	鹽山本宮天面山
有藏山も稍高し	山西流るる赤坂の	川下まその大分川
かくも大分の町出いでよ	海岸線を打繞り	北のはてより西のささ
山川溪谷音づれて	再び海邊を辿りつゝ	管内地形のあらましを
かさつくしぢの大分町	學びの庭の童への	肥憶の爲の道志るべ
いつも心に我縣の	ありさま忘るる事勿れ	

明治廿六年七月三日印刷
 明治廿六年七月十五日發行

(非賣品)

著作者兼
 發行者

牧源太郎

大分縣北海部郡臼杵町百九番地

全 傍島亨

大分縣東國東郡西安岐村四百六十四番地

全 佐藤二十二

大分縣大分郡大分町八拾壹番地

印刷者 樋口溜

大分郡大分町八百九拾壹番地

印刷所 大分活版合資會社

東北隅に突出で、
 隔てて四國とすじ向ひ
 縣内一の港にて
 運輸の便ある大野川
 川中島とも稱すべし
 豊臣島津の古戦場
 祭る一個の丘陵よ
 有藏山も稍高し
 かくも大分の町出いで
 山川溪谷音づれて
 かきつくしぢの大分町
 いつも心に我縣の

其尖やがて地蔵崎
 瓢箪形の細首
 眞珠をるめの産多し
 鶴崎高田の琵琶形に
 三佐も與島も三稜州
 松榮山は西南の
 續きて聳ゆる高山は
 山西流るゝ赤坂の
 海岸線を打繞り
 再び海邊を辿りつゝ
 學びの庭の畫への
 ありさま忘るゝ事勿れ

速吸水門の海峡を
 開く港の佐賀の關
 市村過ぎて一里半
 乙津の川にせばめられ
 戸次村の利光の
 役に戦死の軍人を
 靈山本宮天面山
 川下あそひ大分川
 北のはてより西のささ
 管内地形のあらましを
 記憶の爲の道志るべ

明治廿六年七月三日印刷
 明治廿六年七月十五日發行

(非賣品)

著作者兼
發行者

牧源太郎

大分縣北海郡白杵町百九番地

全 傍 島 亭

大分縣東國東郡西安岐村四百六十四番地

全 佐 藤 二 十 二

大分縣大分郡大分町八拾壹番地

印刷者 樋 口 溜

大分郡大分町八百九拾壹番地

印刷所 大分活版合資會社

